

## 2-2-1

都市近郊の2車線道路、新設

高さ15m、張り出し式橋脚3基のコンクリート工の施工計画策定、業務責任担当者

橋脚コンクリート量270m<sup>3</sup>/基（フーチング）、230m<sup>3</sup>/基（梁、柱）

梁、柱は鉄筋が密な構造

### 留意事項

周辺条件：都市近郊

構造物条件：マスコンクリート、過密配筋、高さ15m、コンクリート総量1,500m<sup>3</sup>

### 立場

発注者（請負者）の責任担当者

#### 1. 調査検討すべき事項とその内容

(ア) 周辺環境調査：土地利用状況、交通量と種類、周辺施設の種類と規模、着手前の音・振動の有無

(イ) 現地状況調査：現地地形、地質、地盤状態、地下水等の状況

(ウ) 占有物（上空、地中）調査：管理者、種類、形状、大きさ、高さ、深さなど

(エ) 電力、水などの確保方法：電力、水、その他の入手確保手段の確認

(オ) ヤードの確保：施工ヤード、仮設ヤード等の確保の可否（場所と規模、所有者）

(カ) 資機材類搬入出経路の調査：原材料、資材、機械などの搬入出経路

#### 2. 業務を進める手順（留意すべき点、工夫すべき点を含む）

(ア) 工程計画立案：コンクリートの打設時期により、暑中／寒中コンクリートとしての管理が必要になる場合は、その対策も見込んだ工程計画とする。

(イ) 施工手順の立案：標準的な作業手順を立案したうえで、マスコンクリート対策や過密配筋対策にも留意する。打設計画は交通状況や周辺施設の利用状況を踏まえたものとする。

(ウ) 配置計画策定：人員、機械、仮設資機材の配置計画を策定する。

(エ) 搬入出計画策定：交通量や周辺施設の状況に応じた搬入出経路を選定し、時間帯に制限がある場合はそれを見込んだ計画とする。

(オ) 安全管理計画策定：交通状況や作業環境を十分踏まえた、作業員／第三者への安全管理計画を策定する。

(カ) 品質管理計画策定：マスコンクリートや過密配筋を原因とする品質低下に留意した、品質管理計画を策定する。

(キ) 環境保全計画策定：打設締固め時の騒音、振動の影響が少ない作業時間帯を選定する。これらの発生が容認できない場合は、締固めが不要な材料の使用を検討する。

#### 3. 業務を効率的に進めるための関係者との調整方策

(ア) 関係者：発注者（請負者）、周辺住民、周辺施設管理者（利用者）、主要インフラ管理者、占有物件管理者、所管警察署、消防署など

- (イ) 連絡窓口の設置とリスクコミュニケーションの実施：工事でのリスクとその対策について、連絡窓口を設けて関係者との双方向のコミュニケーションを実施継続する。
- (ウ) 調整内容等：工期および工事内容と区域の説明、交通規制の内容・期間・時間帯、作業内容・作業工程と時間帯の説明、安全対策方法の説明 など